

事業説明会資料

開催日:2008年6月26日(木曜日)

証券コード:3753

株式会社フライトシステムコンサルティング

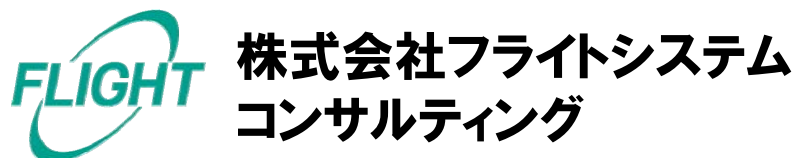


1 私たちFlightグループとは

新事業セグメント

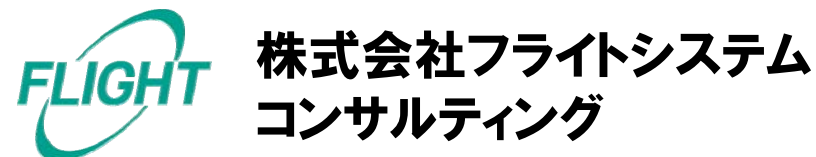
当グループは事業の実態に即して
事業セグメントを以下の4つに分類しています。

システムコンサルティング事業



デジタル放送・デジタルメディア関連向け及び
地方自治体向けのシステムコンサルティング
サービス事業

システムインテグレーション事業



JavaやRubyのソフトウェア技術を活用した
地方自治体の電子政府化関連や地銀・
一般企業向け各種システム開発事業

放送・映像システム開発・製造・ 販売事業



放送・映像システムの開発・製造・販売

放送・映像システム保守事業



放送・映像用機器の修理・定期点検・
技術業務 請負で技術者出向

会社・事業所 マップ



2 平成20年3月期 活動レビュー

2 活動レビュー 経営面



1 アstroデザインからの追加出資と協業強化



- 当社の創業初期からの株主であり、放送・映像機器大手メーカーであるアストロデザイン株式会社様に、2007年4月、従来の5%だった出資比率を10%に引き上げていただき、約7,000万円の資金調達を実施。
- これに伴い、同社の鈴木茂昭代表取締役社長を当社の社外取締役に迎え、同社とのさらなる協業を目指します。

2 連結子会社2社の経営統合(合併)



- 連結子会社2社(山下電子設計、エレテックス)を経営統合し、新生・YEMエレテックス株式会社としてスタート。
- 大阪事業所に工場機能を集約、また資材調達も一元化。

3 連結子会社の社名変更、事業所移転



- 放送機器・システムの保守事業を営む連結子会社、ワイ・イー・シー・リサーチは、事業拡大に伴い、株式会社トラスティ・エンジニアリングと社名変更し、また事業所を厚木市内で移転・拡張。

4 有利子負債削減

- 子会社の不動産を売却する事などにより、前期末に比較して有利子負債を4.4億円削減！

2 活動レビュー 事業活動面



1 MIJS への参画

- 国内の有力ソフトウェアベンダーが結集し、製品の相互連携を行って海外展開および国内ビジネス基盤の強化を図ることを目的に設立された「メイド・イン・ジャパン・ソフトウェア・コンソーシアム (Made in Japan Software Consortium:以下、MIJS)」へ加盟。
- 参画しているパッケージソフトベンダー様と協業して販売する事により、Total Cluster のさらなる拡販を目指します。



2 Total Cluster を軸にしたMIJS 加盟各社との協業

- 2007年11月19日、JASDAQ上場の(株)ビーエスピーの「A-AUTO」との連携・協業を発表。
- 2007年11月26日、(株)アプレツノと同社の企業内に散在する様々なシステムやデータを最適に活用するデータ連携ソリューション製品「DataSpider(データスパイダー)」との連携・協業を発表。

x86/x64 Solaris 高可用性クラスターソリューション

FLIGHT Total Cluster ver.2.0



DataSpider® Servista

A-AUTO®

2 活動レビュー 事業活動面

3 Ruby ビジネスコモンズの立ち上げに参画

- 永年に亘るJavaのノウハウを活用し、日本生まれの次世代プログラミング言語「Ruby」へ取り組みを開始。
- この新しいプログラミング言語を活用してビジネスを広げて行く業界団体「Ruby ビジネス・コモンズ」を昨年7月31日に業界各社と創設。

Ruby Business Commons



4 WiFi無線LANを活用した情報配信にトライ！

- スマートフォン、iPod touch、ニンテンドーDS、PSPなど、WiFiに対応したポータブル端末が多数出ています。
- 福岡・天神の街にWiFi無線ルータを配備してメッシュ型のネットワーク空間を創出し、そのエリアに特化した情報発信をするというサービスの実証実験を行いました。

つなげる、つながる天神WiFi
TENJIN WiFi
天神・大名WiFi化計画

スマートフォン

iPod touch

メニュー

PSP

ニンテンドーDS

2 活動レビュー 事業活動面

5 Solaris Community for Business への参画

SCB

Solaris Community for Business

- Solaris on x86 を活用したビジネスを立ち上げるべく業界32社が集結し、「Solaris Community for Business(SCB)」が設立され、当社も参画。昨年11月27日に、記者会見が開催されました。
- 2001年から Solaris x86 に取り組んで Total Cluster を立上げてきた当社にとっては大きなビジネスチャンス。
- RBC(Ruby Business Commons)同様、単なる技術コミュニティではなく、ビジネスを創造するために集結したコミュニティです。



6 東北 Developers Community(TDC)設立

- 福岡で立ち上げたRBC(Ruby ビジネスコモンズ)に続き、東北地区での技術者の団体、東北 Developers Community(TDC)を2008年2月27日に宮城県仙台市で設立！
- 当社は仙台市に事業所がある事などから、中心的にこのコミュニティの立ち上げに尽力いたしました。執行役員 SI事業部長の和田克明が事務局長に就任しております。
- Javaを中心としたWEB技術に関する技術者、開発会社、ユーザ企業などを集めたコミュニティとして立ち上げ、東北地場での事業の活性化を推進してまいります。

2 活動レビュー 事業活動面

7 オープンソフトによる電子自治体共通基盤システムを発表

O S A C
Open Standardisation Support Consortium

- 電子自治体の共通基盤となるソフトウェアをオープン化！
- 三井物産戦略研究所、野村総合研究所、電通国際情報サービスと電子自治体共通基盤システムを共同推進（2007年8月6日）
- 上記3社と協業し、電子自治体の共通基盤となるソフトウェアをオープンソース化し、サービス事業を開始。



8 シンククライアントソリューションへの展開

- どこにいても安全に社内のアプリケーションを利用できる FLIGHT Application Delivery System を発表！
- Solaris技術、Total Cluster を活かすソリューション！

フライトシステムコンサルティング <http://www.flight.co.jp>

情報漏えい、TCO削減の決定版 **Preliminary** **SECURITY**

FLIGHT Application Delivery System

FLIGHT Application Delivery System を設置するだけで、WindowsやUNIX、Linux、メインフレーム等の既存ビジネスアプリケーションがそのままWebブラウザで利用できるほか、システム全体の堅牢性と拡張性を高めることが可能になります。

アーキテクチャ (三層構造を採用)
第一層はアプリケーションサーバ（第二層はFLIGHT ADSサーバ、第三層はクライアント）で、クライアント側のWebブラウザ（もしくはモバイルプラットフォーム）からFLIGHT ADSサーバを經由してアプリケーションが利用できます。

FLIGHT SYSTEM CONSULTING Inc.

2 活動レビュー 事業活動面

9 第21回福岡アジア映画祭に協賛 ～デジタルシネマ Hommage の展開～

- 映画業界に造詣の深いアクティブ・シネ・クラブ様と協業し、各種映画の上映で利用されました。
- 第21回福岡アジア映画祭2007 に協賛。映画関係者、監督、プロデューサ等に訴求。
- 映画業界に特化したビジネススキームを業界各社と協業してまいります。



商用利用の実績を持つ



渋谷ユーロスペースレイトショーで利用

2 活動レビュー 事業活動面

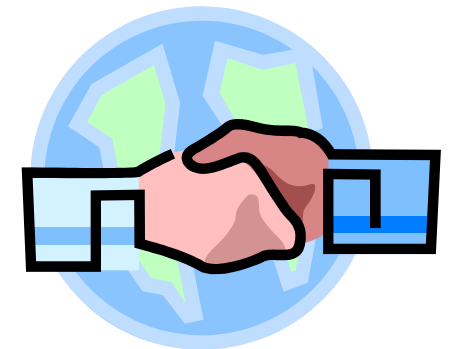
10 株式会社イーシー・ワンとの業務提携

- 2007年11月15日、株式会社イーシー・ワンとの業務提携を発表。
- 両社は永年にわたり Java に特化した開発を行ってきており、技術ノウハウやコンサルティングノウハウを共有することで、双方にとってより一層の付加価値の高い事業が出来ることを目指してこの提携を推進してまいります。



11 株式会社アイ・ビー・イーとの包括的業務提携

- 2008年2月15日、株式会社アイ・ビー・イー(現アイ・ビー・イー・ネット・タイム)と、包括的な業務提携を発表。
- 当社は放送分野以外のデジタルメディア領域(インターネットサービス等)における事業展開において、他社とのアライアンス等による営業基盤の拡大策を検討してまいりました。
- 本業務提携は、当社及び連結子会社の持つノウハウとIBEの持つノウハウを活用し、インターネット事業者や官公庁、教育関連などのお客様に対し、付加価値の高い提案活動を展開し、良質の案件を受注するとともに、受注後においても両者の強みを活かした案件対応を行うことにより、両社の企業価値向上を図ることを目的としております。
- 両社の得意分野を活かして共同で新規商談の提案活動を推進し、また、受注後の案件対応も共同で行ってまいります。



3 新年度の展開について

新年度のスローガン



『*ALL FLIGHT*』で常に飛躍し続ける会社へ！

 フライトシステムコンサルティング(2事業部)

 YEMエレテックス

 トラスティ・エンジニアリング

の3社・4事業ユニットが
力を合わせて事業拡大に
尽力してまいります。



新年度の展開 ～概況～



フライトシステムコンサルティング

- 引き続き堅調な伸長が見込めます。中途採用も好調で、外注費抑制による粗利益率向上も見込めます。



YEMエレテックス

- 2期連続で赤字を計上したYEMエレテックスも、この1年で仕込んできた製品の投入や設計から製造に至るまでのプロセス改善による利益率の改善で、新年度は黒字化を目指します。
- YEMエレテックスはこの新年度、大手メーカーにOEMする新しい製品を立ち上げる予定です。同社の販路によるワールドワイドでの売上に期待をしております。



トラスティ・エンジニアリング

- 保守事業を営むトラスティ・エンジニアリングにつきましては、保守事業の性格上、ある程度の売上・収益は期首に読めるため、新年度も確実に収益を上げていくと考えております。

事業計画達成に向けて

1 執行役員制度の導入

- 前事業年度では、事業現場を一番よく知る現場の長を事業部長に据える施策が功を奏しました。新年度はさらにビジネスが加速するよう執行役員制度を導入して、権限を委譲し、迅速なビジネスを展開してまいります。
- 管理部門も管理部長を執行役員に登用し、迅速なオペレーションを実施。

2 積極的な人員採用

- 各種業界団体へ中核的に参画し、マスメディアへ露出することが増えたことにより当社の認知度が上がり、当社への応募が急増しています！新年度がスタートしてまだ1ヶ月ですが、コンサルタントを中心に優秀な人材の採用が出来ています。
- 旧来のような人材会社からの紹介ではなく、個人からの直接応募が増えており、当社の活動を理解した上で積極的にやりたいテーマを持つ人材が集まってきています。
- 当社のビジネスは人材が生命線！優秀な人材が集まってきている今、まさにビジネス成長の大いなるチャンスです！
- 採用増の成果としては、前期に比べ外注費を圧縮する事ができるため、利益率が大幅に改善されると考えております。



事業計画達成に向けて 『天神・大名WiFi化協議会』の立ち上げ

- 福岡・天神の街に無線ネットワークを張り巡らせての情報配信の実証実験を開催！
- この成果が実り、『天神・大名WiFi化協議会』が福岡市で立ち上がりました。当初より中核的に設立準備に参画してきた当社から事務局長を輩出する事になり、この協議会をリードし、ビジネスへつなげてまいります。



天神・WiFi化協議会とは？

天神・大名WiFi化協議会は、天神・大名WiFi化プロジェクトを検討・協議し、WiFi化と関連コンテンツの管理・遂行を行っている任意団体です。

所在地:福岡市東区馬出2-1-7 福岡ことぶきビル2F

設立:平成20年2月

電話お問合せ先:092-641-8230

((株)株式会社フライトシステムコンサルティング 福岡営業所内)

代表お問合せ先メールアドレス:info@kyushu-wifi.net

取材お問合せ先メールアドレス:publicity@kyushu-wifi.net

事務局長:杉山 隆志

広報担当:松前

← 当社、執行役員コンサルティング事業部長

事業計画達成に向けて Rubyをビジネスに！

- そして、この1年で参画した業界団体の1つ、Rubyビジネスcommons(通称:RBC)での活動も前ページの『天神・大名WiFi化協議会』の活動とも密接に絡み、活発化してきています。

Ruby Business Commons



- Ruby という新しいコンピュータ言語を活用してビジネス領域を広げていこうというのがこの団体の活動ですが、大手SI事業者でもRubyというコンピュータ言語の優位性を認め採用を始めるところが増えてきています。
- 我々はRubyを利用する技術について他社と比べて、1年以上のアドバンテージを持っています。我々の技術を積極的に活用し、ビジネスにつなげていきたいと思っています。



その先のリアルビジネスへ向かって！

- 天神・大名WiFi化協議会、RBCなどの流れに沿って新たなビジネスを創り出すための新組織も近日中に1つ発足する予定です。この新組織体を軸に新しいビジネス領域を広げてまいります！
- 新しいテクノロジー、新しいコンテンツ作成手法、新しい通信手段、新しいアライアンスを軸に、新しいビジネスを生み出すべく活動してまいります。



4 今後の展開

～ 私たちの将来 ～

4 今後の展開

FLIGHT ~ デジタルメディア市場に向けて ~ FLIGHT

- 当社は、旧来からのコア・コンピタンスであるデジタルメディア系の市場、そして2006年度から取り組んできた電子自治体系の市場、それぞれについて大きな成長を見込んでいます。
- 地上デジタルテレビ放送は2011年をメドに設備投資も一段落しますが、大手家電メーカー各社が合併会社を作ってネットワーク端子付きデジタルテレビ向けにネット配信を行う会社を設立するなど、インターネットによる映像配信がいよいよ本格化します。
- ここまでコンテンツのネット配信が広まらなかった一番の要因に、日本の法整備の問題があります。テレビ局は放送法、インターネットのサービス事業者は通信法により規制を受けます。それらが別々の法律ゆえ、機動力のある映像配信事業に対する大きな障壁となってきました。
- しかし2011年にはこれら2つの法律が『**情報通信法**』という1つの法律に統合される予定で、その時点で放送と通信の垣根が崩れ、いろいろなビジネスが産まれると考えられます。
- 当社がこれまで培ってきたデジタル映像処理に関するノウハウが存分に発揮できる市場が広がってまいります。



放送とネットが1つの土俵に!

4 今後の展開

FLIGHT ～電子自治体市場に向けて～ FLIGHT

- 地方自治体向けのコンサルティングサービスについても、引き続き堅調な成長が見込めます。
- 従来、各自治体は大手ベンダーのメインフレームコンピュータに大きく依存するオペレーションをしてまいりました。しかし年間数十億円もの運用に耐えられず、PC等を活用したオープン化を推進する自治体が多数、出てまいりました。
- それら改革派の自治体はまだ少数派ですが、毎年、確実に増えております。当社がかかわっているだけでも数多くの市区町村で次々とシステムの軽量化に取り組む自治体が出てきています。それら自治体に対するコンサルティングサービスは拡大の一途をたどると考えております。
- この市場に向け、野村総合研究所、三井物産戦略研究所、電通国際情報サービスの大手3社と連携し、自治体向け基盤ソフトウェアをオープンソース化し、今や当社は自治体のシステム関係者には多いに話題にさせていただいております。これら、当社の思想に共感いただける自治体に対し、今後の積極的なビジネス展開をしてまいります。



4 今後の展開



グループ間での協業



子会社化から2年が経ち、ようやくこの新年度から、グループ協業のビジネスが活発化します。



- 前期、当社とYEMエレテックスが協業し、放送局向けにニュース取材の映像のネットワーク伝送のシステムを開発しました。
この新年度、この技術がYEMエレテックスの標準製品となります。



- また今後、保守を子会社であるトラスティ・エンジニアリングに委託する予定であり、同社が進める『機器の単体保守からシステム一括の保守へ!』という戦略に沿った動きを当社は支援してまいります。

フライトシステムコンサルティング / YEMエレテックスの共同開発

ニュース報道を一早く中継!



ネットワーク
伝送



YEMエレテックスとして
標準製品化へ!
(4月14日北米・NABショーに出展)



4 今後の展開

子会社 YEMエレテックス株式会社

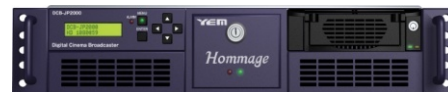
- YEMエレテックスは前期に大きく舵を切った工場統合・生産統合・資材調達統合、そして会社自体の経営統合作業が大きく進み、前期前半の(株)山下電子設計(YEM)とエレテックス(株)の体制から、新生・YEMエレテックス株式会社への移行が順調に進んで来ております。
- 工場統合、経営統合の影響で前期は売上を大きく落としたYEMエレテックスですが、その分、種々のビジネスの下準備を行えた1年でもあり、ここから『情報通信法』の時代へ向け、世の中の役に立つ製品群の投入を行い、収益化を図ってまいります！



米国テレビ芸術科学アカデミー (The National Academy of Television Arts & Sciences) より、「デジタルHDTVアップコンバータの先駆的開発達成」に対して、2001年度「エミー賞」を受賞

YEM

株式会社山下電子設計



JPEG2000製品 & デジタルシネマの開発



エレテックス株式会社

HD映像の二重化伝送



YEMエレテックス

4 今後の展開

子会社 株式会社 トラスティ・エンジニアリング

- 2007年7月1日に、心機一転、社名を株式会社 トラスティ・エンジニアリングに変更し、事務所も移転いたしました。
従来からの放送・映像機器の保守と、さらにシステム系の保守への展開もスタートしています。



放送・映像機器の保守



放送・映像システムの保守

『ALL FLIGHT』をスローガンに
シナジー効果のある経営を行い
常に飛躍し続けるグループを目指し
尽力して参ります！



お問い合わせ

- **IRならびに本資料に関するお問い合わせ**
 - **IR責任者:** 取締役 松本 隆男
 - **IR担当者:** 執行役員 金(こん) 浩樹
 - **E-Mail:** info@flight.co.jp
 - **電話:** 03-3440-6100
 - **ホームページ:** <http://www.flight.co.jp>

本資料について

本資料は、平成20年3月期決算の業績について情報提供することを目的としたものです。本資料は、平成20年5月15日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載した予測値や情報は、資料作成時点の当社の判断です。情報の正確性、完全性を保障するものではありません。また、今後予告なしに変更することがあります。